



※清永啓太さん（地域おこし協力隊）のイラストを掲載します。季節で変わる予定ですので、お楽しみに！

指導農業士に認定



出水美代子さんが鹿児島県指導農業士に認定されました。指導農業士は、優れた農業経営を実践し、青年農業者の育成に対する熱意と指導力のある農業者を県知事が認定するものです。伊佐市では6人目の認定になります。

出水さんは「新規就農者が地域にしっかり生活基盤を築き、農業経営が安定するようお手伝いしたいです。良き相談相手として、農業の楽しさやうれしさを伝えられたら」と話しました。

みんなで掴んだ躍進賞！



2月19日から23日の5日間で県内一円で健脚を競う「第69回県下一周市郡対抗駅伝競走大会」が開催されました。

伊佐チームは、大会を通して高校生ランナーの活躍が光り、それに負けじと社会人ランナーも積極的な走りでピンクの襷をつなぎました。晴天に恵まれた大会3日目は、選手たちが力を振り絞って伊佐を駆け抜けました。

チームは前年からタイムを28分35秒短縮して躍進賞を獲得。総合順位も11位で、最下位脱出の目標を達成しました。

自衛隊入隊者壮行会

3/16

自衛隊入隊者壮行会が行われ、伊佐市出身の7人（1人欠席）の入隊者を激励しました。

入隊者を代表して横山眞子さんは「一人前の自衛官として、大切なものを守れるようになりたい。激励を力に変えて、地域の期待に応えられるよう頑張りたい」と力強く決意を述べました。



生理の貧困を考える

2/28



大口明光学園高等学校1年生の有志グループ5人が市長を訪問し、「生理の貧困」に関する研究成果を報告しました。

有志グループは、鹿児島県の生理貧困支援率が全国最下位であることを知り、校内での資料掲示やアンケート・募金活動を実施して、問題の啓発活動に取り組みました。

5人は「研究を通して、生理の貧困問題の理解を深めることができました。集まった募金は女性を取りまく問題の解決にお役に立ただけなら」と話しました。

現在、市では、支援を必要とする人に対して公共施設で生理用品を配布しています。

空き家活用を考える

3/8



大口明光学園高等部2年生「明光 girls」の4人が市長を訪問し、かごしま空き家活用コンテストにおいてアイデア部門優秀賞の受賞を報告しました。

空き家活用コンテストでは、改修した空き家を体験型宿泊施設として活用し、伊佐の「食」「自然」「農業」体験を提供する案が高く評価されました。

4人は「コンテストを通して、伊佐の空き家問題の課題と解決策を考えました。この学びを活かして、市政に協力できるような具体的な活動をしたいです」と話し、賞金の一部を市の空き家対策支援に寄附しました。

安心安全な保育・療育環境に貢献

2/22



かぎんSDGs推進私募債を活用し、伊佐愛林有限会社が子ども発達支援センターたんぼぼにオゾン発生器を贈呈しました。オゾン発生器は新型コロナなどのウイルス対策に効果が期待されています。

代表取締役の今吉光一さんは「保育・療育の現場には、子どもたちの自立に向けた持続的な支援が必要。安心安全な環境づくりに貢献できたら」と話しました。

曾木校区で「ひなかざり」展示

2/25~3/31



曾木校区コミュニティ協議会による「ひなかざり」の展示が、西太良地区コミュニティセンターで開催されました。

校区高齢者学級の受講生など、校区住民等が手作りした高さ約3.5メートルのつるしびなをはじめ、華やかでかわいいひなかざりなどが多数展示され、来場した方々を魅了していました。



大口高校生 大学でもがんばって！

3/15



伊佐市役所で大学進学奨励金交付式が行われました。

これは定員割れが続く大口高校への支援策として、市が定める大学に進学する大口高校卒業生に対し奨励金を支給するものです。

植木一喜さんは「大学ではスポーツと勉強に一生懸命に取り組みます。将来、伊佐に恩返しできるように頑張ります」、安田光輔さんは「大学では外国語をしっかりと学びたいです。奨励金を大切に活用させていただきます」とそれぞれ話しました。



おめでとうございます



○いきいき教育活動表彰

児島 晴子さん（大口中央中3年：左側）
永野 元喜さん（湯之尾小6年：右側）

○県図画作品展

- ・ 県教育委員会賞
児島 晴子さん（大口中央中3年）
- ・ 県知事賞
末廣 紫星さん（本城小2年）
- ・ 県市議会議長会会長賞
安山 涼之輔さん（大口小1年）

安全に通学してね！

3/9



県トラック協会が、新入学児童に配付する交通標識定規 180 本を教育長に贈呈しました。

鳥部敏雄会長は「この定規をみることで、児童が交通ルールを学ぶきっかけになれば」と話しました。

ドライバーのみなさんにおかれましては、児童・生徒が登下校する時間帯の運転はより一層の注意を払うなど、子どもたちの安心安全な通学にご協力をお願いします。

思いやりの気持ちを学ぶ

2/24



アイメイト鹿児島会の春田ゆかり会長と盲導犬のキャシーが、山野小学校で人権に関する講話を行いました。

講話では、盲導犬の訓練方法や視覚障がい者との正しい接し方を紹介。

春田さんは「視覚障がい者にとって、盲導犬は大切なパートナーです。身の周りのことは自分でできますが、街中の移動では困ってしまうこともあります。困っている人を見かけたら優しく声をかけてあげてくださいね」と呼びかけました。